

文化祭に向けて

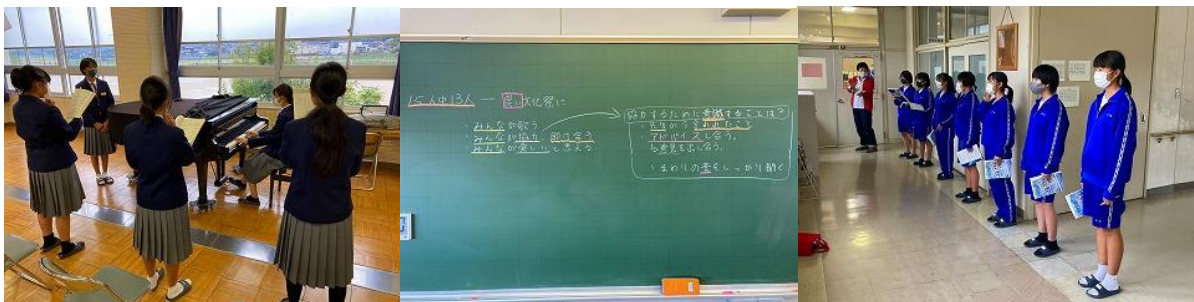
10月18日(月)から文化祭の取り組みが始まっています。わずか2週間の期間ですが、生徒たちは互いに声をかけ合いながら、意欲的に合唱の練習に取り組んでいます。今年度は9月がオンライン学習となり、実際に声を合わせて歌う機会が大変少なかったもので、仕上りを心配していましたが、なかなか立派な歌声が、校舎のあちらこちらから聴こえてきて、生徒たちのひたむきさに、心が洗われるような思いです。



1年生にとっては初めての取り組みですが、指揮者や伴奏者、リーダーや担任の先生等と学級の全員が協力して取り組んでおり、入学以降の半年余りで確実に成長している様子が見られます。

2年生は、何をすべきかが見えている生徒が多く、練習がうまくいかない際にもアドバイスし合いながら進めています。声が1年生と比べて随分と大人びているのに驚かされました。

3年生はさすがです。どのクラスからも本格的な歌声が響いています。それでも更に完成度を高めるために、限られた時間に集中して練習に取り組んでいる姿に、感心するばかりです。



体育館の会場設営は、25日(月)に、2年生の生徒たちが行ってくれました。合唱以外にも、展示する作品の制作や、発表の練習や仕上げに取り組んでいる生徒がたくさんいます。

11月2日(火)の文化祭当日は、感染症対策のため、保護者の皆様にはご覧いただけません。そこで、10月30日(土)に合唱コンクールのリハーサルを実施します。是非ご観覧ください。

※事前に「観覧カード(1家族1名)」を配付しますので、必要事項をご記入の上、必ずご持参ください。また、文化祭当日の体育館での発表の様子につきましては、『YouTube』でのライブ配信、及びアーカイブ(見逃し)配信(11月4日(木)12:00まで)させていただきます。

URLは、<https://youtu.be/17wRQk3Q8Bs> です。

メディアリテラシー講演会

10月22日（金）に、2年生がメディアリテラシー講演会を受講しました。本来ならば、体育館で学年全体がお話を聞くところですが、感染症対策のためオンラインでの開催となりました。他学年の生徒にとっても大切な内容ですので、以下にお話の要点をまとめました。

「メディア」とは

現在、私たちが暮らしている社会には、たくさんの情報があふれています。新聞、テレビ、ラジオ、書籍、広告、インターネットなどの情報媒体を「メディア」といいます。

「メディアリテラシー」とは

「メディア」における情報の一つだけをそのまま信用するのではなく、多種多様な情報を様々な視点から見つめ、それらの情報が正しいかどうかを主体的に判断して見極め、適切に活用する能力のことです。以下の3つの能力を、複合的に組み合わせながら活用することです。

- 1 **メディアを主体的（情報をうのみにしない）に読み解く能力**
- 2 **メディアにアクセスし、活用する能力**
- 3 **メディアを通じコミュニケーションする能力**

「メディアリテラシー」と「人権」

さまざまなメディアから膨大な量の情報が発信され、その中には誤った情報や人権侵害となる情報も含まれています。また、特に、インターネットを利用したSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）などによる情報発信については、情報をよく確認し、人を傷つけることがないように意識するなど、メディアリテラシーの適正な活用が必要です。

インターネット上の「人権」

インターネットによりコミュニケーションの輪が広がるなど便利になる一方で、インターネットを悪用した行為が増えており、他人への誹謗中傷、差別的な書き込みなど、人権侵害につながる情報が流れるといった事象が発生しています。

インターネットを悪用することなく、生活習慣、文化、価値観等の違いを認め合い、お互いの人権を尊重し、適正に活用しましょう。

自分の目で情報をしっかり見極めよう

自分で情報を見極めるのは簡単なことではありません。しかし、普段から「自分は今どういう情報を必要としているのか」「どのような情報であれば信憑性が高いのか」を意識することで、適切な情報を選びやすくなります。日頃からメディアリテラシーを養っておきましょう。

- ・「メディアリテラシー」は手に入れた情報をうのみにせず、自ら考え確認するスキル
- ・SNS等の普及により、真偽不明の情報が多く出回っている
- ・1つの情報でも、メディアや人によって見方や内容が大きく変わる
- ・簡単に情報を流せる分、そのことが人命に影響を及ぼしたり、犯罪につながったりする
- ・情報に踊らされないためには、信憑性の高い情報の仕入れに重点を置いたり、複数の情報源にふれたりしながら、よく吟味することが重要